

令和6年度

第1回

教育課程編成委員会報告書

学校法人長野県理容美容学園

長野理容美容専門学校

第1回教育課程編成委員会 議事書

日時：令和6年8月6日（月）14：00～

場所：長野理容美容専門学校 校長室

出席者：s o r a 伊藤秀一先生

松林校長 柏原教務主任

校長より

教育課程編成委員会では、毎回先生方に教育内容の奥深いご意見を頂戴し、カリキュラムに生かしています。今回も、忌憚ないご意見頂戴しカリキュラムに生かしていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

【議事】

1. 自己評価委員会、学校関係者評価委員会報告

新しくなられた先生のメンタルフォローは、職員が協力してやっていってほしい。評議委員会で出たように、学校理念は講師の先生にとってあまり目に触れないことだったのかと改めて感じた。外部講師にも学校理念や、教育目標など伝える機会があってもいい。A4サイズ1枚の用紙でもいいと思う。シャンプーに関心のある生徒が増えたことはうれしい。シャンプーは即戦力になる。まずはシャンプーテストからなので、スムーズに仕事に入ることができると、新入社員としてもやりがい生まれる。お客様に「気持ちがいい。」とほめていただければ、モチベーションも上がる。シャンプーがうまい人はスタイリストになってもお客様がつきやすい。最近はヘッドスパも自分へのご褒美で利用される人が増えてきている。大体1回5,000円。美容師は1つの技術に打ち込める職人の部分がある。オープンキャンパスの参加高校生が増えているのはうれしいこと。地元美容師とのつながりを強くしていくといい。サロン用チラシを作成して、ガイダンスなどでお願いするといい。職員の温かさと、サロンとのつながりの強さを売りにしていくといいと思う。奨学金利用者は全体の8～10%。卒業後はフォローしていかないと生活が苦しくなり、それがモチベーションを下げってしまう原因となる。通信科600時間が3年後スタートする。高校も通信科が増えてきている。オンライン、駐車場、宿泊などあらゆる方法やサービスで行っている。美容師をやっていない人(休眠美容師)にもまつ毛エクステンション、ヘッドスパなどの講習を学校で行うといいんじゃないか。中学生職場体験同様、サロン見学や体験などおして、学校とサロンが協力し合い、生徒確保につなげていきたい。ヘアショーもカッコよく魅せたいのもわかるが、高校生や一般の人が見てわかりやすいものにしていくといいと思う。説明を入れるとか、ピフォーアフターなどはわかりやすく面白いと思う。Soraでは広報に専属デザイナーが入っている。美容学校はおしゃれに興味のある人が多いため、その上をいかなければいけない。

2. 重点目標振り返り

お給料をいただいてサービスを提供している。重点目標は卒業してからようやく気付く。サロンに出て余計に感じる大事な事。お客様をいかに気づくか、人の本質がわかる。最近の若い人は怒られ慣れていない。失敗しなければわからないこともある。失敗した後の処理の仕方で学んでいく。チャレンジして失敗したときの責任を取ってあげる器も必要。失敗したことを隠されてしまうことの方が、より大きなクレームになりかねない。面倒が見れる、失敗が言える環境であることも大事。業界も協力していきたい。

3. カリキュラムと職業実践について

メイクに興味のある人が増えている。メイク検定は学びたいと思っている内容と違うようだ。ニーズに近いものにしていった方が良い。学生は本当に検定が欲しいと思っているのか。

ネイル検定も検定が必要なのか。メイクに興味があるというのに、学びたい内容と違うということが生徒募集にもつながってしまう。学びたい内容に近ければ広報にもつなげていける。カット&カラーは着地点がわからなかったようだ。各講師の連携を取るためにコンセンサスを取って、それぞれの役割、それぞれの時間の着地点を決めていくべき。

4. 生徒アンケート

緩すぎるのもよくない。言い方、伝え方が大事。講師打ち合わせ会にも伝えていく。

5. 業界から

サロンが協力体制がとれるよう働きかけていきたい。美容の楽しさ、やりがい、どんどん伝えていきたい。楽しいということは純粹に必要。子供の数が減っていく。いかに長美に来ていただくか。

次回予定 第2回教育課程編成委員会 令和7年3月4日 14:00～